

プロンプト基礎研修〈応用編〉

# プロンプトを 使いこなす

ツール横断で効く、応用テクニックと実例 55分講座

---

一般社団法人 JOTO WARRIORS | 全17枚 / 所要時間 約55分 / 対象：基本操作を習得済みの方

# 本日のゴールと前提

基本操作はおさらいせず、応用と実例に時間を使います。



## 前提

4点セット（役割・目的・条件・出力形式）は理解済みで、日常的にAIを使っている前提で進めます。



## 今日は

Few-shot／思考の連鎖／ロールプロンプティングといった応用テクニックと、ツール横断で使える考え方に時間を使います。

---

基本のおさらいはせず、応用と実例の学びに集中する会です。

# 本日の流れ（全6章）

基礎確認は最小限、応用と実例中心に進みます。

|    |              |                          |
|----|--------------|--------------------------|
| 01 | 基礎のおさらいと動機付け | なぜ体系的に学ぶ価値があるのか          |
| 02 | プロンプト応用テクニック | Few-shot・CoT・ロールプロンプティング |
| 03 | ツール横断の実践     | ツール比較・テンプレート化・連携ワークフロー   |
| 04 | 注意点（総まとめ）    | ハルシネーション・機密・著作権・肖像権      |
| 05 | ワーク実践        | 自分の業務で応用テクニックを試す         |
| 06 | まとめ          | 今日からのアクション               |

# なぜ今、プロンプトを体系的に学ぶのか

「なんとなく使えている」を、一段引き上げます。



## 自己流だと成果にばらつきが出る

同じAIでも、頼み方の質によって出てくる答えの精度は大きく変わります。感覚頼みだと、うまくいく日といかない日が出てきます。



## 型を知れば、どのツールにも応用できる

ChatGPT・Claude・Gemini・Copilot、どれも土台にある考え方は共通です。1つ体系的に身につければ、全部に活きます。

---

「なんとなく」から「狙って」使える状態を目指します。

# 基本の4点セット（圧縮おさらい）

役割・目的・条件・出力形式、ここからすべてが始まります。

|    |      |                        |
|----|------|------------------------|
| 01 | 役割   | 「営業担当として」「初心者にもわかるように」 |
| 02 | 目的   | 「取引先へのお詫びメールとして」       |
| 03 | 条件   | 「3行程度」「丁寧語で」「納期は来週月曜」  |
| 04 | 出力形式 | 「箇条書きで」「表で」「メール文面で」    |

# Few-shotプロンプティング：お手本を見せる

実際の“お手本”を2～3個見せて、出力を狙い通りに揃えます。



## 例：返信のトーンを揃えたい

「以下の例のようなトーンで、お客様への返信を作成してください。例1：ご連絡ありがとうございます… 例2：お問い合わせいただき感謝申し上げます…」



## 使い分けの目安

Few-shot = お手本を見せる（形式・トーンを揃えたい時）／Zero-shot = 例なしで指示だけ（シンプルな依頼の時）

---

形式・トーンを揃えたい時ほど、お手本を見せる価値があります。

# 思考の連鎖（Chain of Thought）を引き出す

「順番に考えてから答えて」で、複雑な判断の精度が上がります。



## 結論だけを求める

「このプランとこのプラン、どちらがいい？」

- ・ 精度にばらつきが出やすい
- ・ 根拠が見えないまま結論が出る



## 段階的に考えさせる

「①コスト②リスク③効果の順に整理してから結論と理由を」

- ・ 判断の精度が上がる
- ・ 根拠も一緒に確認できる

---

用語解説：CoT＝AIにも考える過程を書き出させ、間違いを減らす手法

# ロールプロンプティング：役になりきってもらう

「あなたは〇〇です」と役割を与えると、答えの質が変わります。



## 例：ベテラン広報担当として

「あなたは10年目の広報担当です。この告知文を、地域の方に親しみを持ってもらえるトーンで書き直してください」



## 例：初めての参加者として

「あなたはAIラボに初めて参加する保護者です。この案内文で分かりにくい所を指摘してください」

---

**「役割」を変えるだけで、同じAIから全く違う視点の答えを引き出せます。**

# 目的で選ぶ、プロンプト手法の使い分け

何をしたいかで、使う手法を選びます。

|    |               |                         |
|----|---------------|-------------------------|
| 01 | 形式・トーンを揃えたい   | Few-shot（お手本を見せる）       |
| 02 | 複雑な判断・比較をさせたい | 思考の連鎖（順番に考えさせる）         |
| 03 | 視点を変えて見てほしい   | ロールプロンプティング（役になりきらせる）   |
| 04 | 繰り返し使う業務にしたい  | テンプレート化・カスタムGPT／Gems化する |

# 主要生成AIツールの特徴比較

得意分野を知って、使い分けます。



## ChatGPT

### 汎用・自動化

- ・ 汎用相談・下書き
- ・ Codexで自動化
- ・ GPTsで専用AI化



## Claude

### 文章・コード

- ・ 長文の読解・要約
- ・ Claude Codeで開発
- ・ 誠実で丁寧な文体



## Gemini

### Google連携

- ・ Gmail/Docs等と統合
- ・ Notebookで資料要約
- ・ Workspaceとの親和性



## Copilot

### Office連携

- ・ Word/Excel/PPT統合
- ・ Teamsでの議事録
- ・ 組織導入のしやすさ

---

「絶対の正解」はありません。業務に合わせて使い分け・併用しましょう。

# プロンプトをテンプレート化する

一度作れば、次回から“毎回の説明”が不要になります。

1



## 業務を選ぶ

繰り返す業務を  
1つ選ぶ

2



## 指示を書く

役割・ルール・  
出力形式を明記

3



## 資料を渡す

過去の書式・  
テンプレを渡す

4



## 使って調整

使いながら  
精度を上げる

---

ChatGPTのカスタムGPT、GeminiのGemsなど、各ツールに「保存する仕組み」があります。

# 複数ツール連携ワークフローの型

AIとスプレッドシート・メール等をつなぎ、自動的に流します。

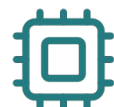
1



## トリガー

問い合わせフォームに  
新着が届く

2



## AI処理

AIが内容を要約し  
下書き回答を作成

3



## 記録・通知

スクリプトが  
シートに記録し通知

4



## 人が確認

担当者が内容を  
確認し、送信する

---

「気づく→下書き→記録」を自動化し、人は最終確認と送信に集中できます。

# ハルシネーションと向き合う

プロンプトの工夫だけでは、完全には防げません。



## 工夫だけでゼロにはできない

どれだけ良いプロンプトを書いても、AIが事実と異なる内容をそれらしく答える可能性はゼロになりません。



## だから「確認」を組み込む

固有名詞・数字・日付・引用は必ず一次情報で裏取りする。重要な文書は人によるレビューを工程に組み込みましょう。

---

**「プロンプトを工夫する」と「人が確認する」は、両方あって初めて安全です。**

# 公開・送信前の3つの最終チェック

今日学んだ応用テクニックも、この3つとセットで使います。

## 01 機密情報を入力していないか

顧客情報・個人情報・社外秘の資料は入力しない

---

## 02 著作権を侵害していないか

既存の著作物に似すぎていないか、商用利用の規約を確認する

---

## 03 肖像権を侵害していないか

実在の人物が写った画像を元にした生成物は、本人の同意を確認する

# ワーク実践（応用編）

どれか1つ、今この場でやってみましょう。



## Few-shotで書いてみる（8分）

自分がよく作る文章（メール・報告書等）を2つ「お手本」として用意し、AIに3つ目を作らせてみましょう。



## ロールプロンプティングを試す（8分）

同じ依頼を「読み手の立場」でAIに評価させてみましょう。書き手視点との違いを比べてみます。

---

できたら隣の人と見せ合い、手法を変えて出力の違いも試みましょう。

# 今日から使える3つのアクション

小さく始めるほど、定着が早くなります。

01



## 手法を使い分ける

Few-shot・CoT・  
ロールを目的で選ぶ

02



## 繰り返しはテンプレ化

毎回の説明を  
仕組みに変える

03



## 3つの最終チェック

機密・著作権・  
肖像権を必ず確認

質疑応答

ご清聴ありがとうございました